

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年9月3日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第 4673300077号
法人名	有限会社 あおぞら
事業所名	グループホーム あおぞら
所在地	日置市日吉町日置 478 (電話) 099-292-2034
自己評価作成日	平成27年8月16日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年8月24日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の中で、安心して生活が送れるよう家族の方々はもちろんのこと、ご近所・友人・知人がいつでも気軽にお越しいただける雰囲気大切に、又外出・外泊も自由にして頂いております。好みの食べ物、昔なつかしい馴染みのある食事が提供出来る様、努力を惜しまず「おいしかった」の笑顔大切にいたしております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

旧日吉町の中心地の閑静な住宅街に建てられているグループホームである。ホーム周辺は小学校があり、散歩にも最適な環境で春にはホームで桜の花見を楽しむこともできる。地域に根ざしたグループホーム運営を目指して、開設間もない頃から自治会加入を果たし、職員は総会や清掃活動にも積極的に参加して地域との交流に努めている。利用者も地域の一員として敬老会・文化祭・小学校の運動会への招待があり、地域のお祭り「せつぺとべ」や「太鼓踊り」などの立ち寄り先にもなっている。また、子ども会のボランティアや中学生の職場体験実習の受け入れも行っており校区の子供たちとの交流も図られている。排泄支援に力を入れており個々の身体状況を見極め、排泄記録とパット等の利用状況を確認して問題がない限り下着で過ごしてもらえるように排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。入居後に改善されて現在下着で生活している利用者も多く、職員のやりがいと家族の負担軽減にも繋がっている。

本人・家族の希望による看取り支援にも協力医療機関と看護師、職員がチームとなって取り組み、経験を積むことにより職員のスキルアップに繋がっている。

利用者の表情が明るく、穏やかで、仲のいい利用者同士互いの居室を行き来するなど安心して自由な生活を送られていることが伺われる。

職員数に余裕を持たせた職員体制は、働きやすい職場環境が整備されて離職が少なく利用者とのコミュニケーションが図られて質の高いサービスの提供が行われているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼で、理念を輪読している。	地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念を作成している。また、理念とは別に日々のケアの目標として職員心得も作成している。理念は玄関・事務室・ホールに掲示してパンフレット・重要事項説明書にも明記している。職員は毎朝唱和し理念を確認して日々の実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事のせつぺとべ、敬老会等の呼びかけに積極的に参加している。	早い時期から自治会に加入しており、総会や清掃活動にも積極的に参加して地域交流に努めている。また、利用者も地域行事（敬老会・文化祭・小学校の運動会等）への参加・見学を通じて、地域の一員として交流し合える関係が築かれている。小・中学生の体験学習・高校生の実習の受け入れも行い子ども達との交流も図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	子供会のボランティア、中学校の職場体験を受け入れ認知症の人の理解に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、職員も参加。近況報告をし意見やアドバイスを参考にサービス向上に活かしている。	運営推進会議は2カ月に1回、自治会長・民生委員・家族代表・行政等の参加を得て定期的開催している。地域の情報や意見交換など会議が運営に反映され、サービスの向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席していただき、近状報告の中から情報交換にもつながり、協力関係を築いている。	運営推進会議を通じてホームの実情や取り組みを伝えて協力関係を築いている。また、生活保護受給者もあり担当者との連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	疑問点が生じたら、その都度勉強会を開き拘束をしないケアに取り組んでいる。	重要事項説明書に「身体拘束・利用者の行動を制限しません」とホームの方針が明記されている。また、身体拘束廃止委員会を設置してミーティング時に職員全員で勉強会を行い、日常でも問題点や疑問点が生じたら都度検討する時間を設けるなど拘束のないケアに取り組んでいる。日中は施錠などせずに職員間の連携で安全で自由な生活を支援している	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴時など身体チェックを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加、知識向上を図り職員間でも報告し情報共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>受け入れ時は、契約書に沿って説明し不安などが無い様に相互理解を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置し、月1回のミーティング時職員へ報告、対応策を検討する。又運営推進会議で報告し意見交換を行う。</p>	<p>日頃より、家族が職員に対して意見や要望などを表しやすい雰囲気作りに努めている。日常の面会時や電話連絡時、運営推進会議、ホームの催し物(運動会・敬老会・クリスマス会)等で家族から意見、要望を聞き出すようにしている。出された意見・要望については職員間で検討して運営やサービス向上に反映させている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回のミーティング後ユニットごとで話し合いを行っている。又必要に応じて勉強会を行っている。</p>	<p>毎朝夕の申し送り時、毎月の全職員参加のミーティング時等で意見交換や話し合いを行っている。また、日常の業務で問題点が生じたら都度話し合う機会を設けている。職員から出された、意見・提案等は業務改善やサービスの質の向上に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は、喜んで働きやすい職場を作る為職員から情報を収集し、設備修繕や環境づくり等に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>市や行政が行う研修会に参加する機会を確保し、研修後職員間で情報を共有し職員全員でスキルアップが出来る様にしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会等で意見交換や情報交換を行い、サービス質向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所時の聞き取り調査で利用者の不安や要望を引き出し、傾聴し本人が安心した生活できる様に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族からも困っている事、不安、要望など聞き取りを行い、対応している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>在宅、他施設、病院からの入所時サマリを頂くなどして情報収集し、支援を見極める。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>敬う気持ちを持ち接せる事はもちろんだが、本人の意思決定を大切に「まだこんなにできる事がある」事を職員と一緒に喜べる関係性を作れるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	墓参りや病院、散髪など外出の機会を持ち交流を図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望があれば、墓参りや自宅周辺のドライブなどを送迎している。	利用者の希望に応じてお墓参りや自宅周辺へのドライブ、馴染みの美容室の送迎など行っている。また、地元出身の利用者は地域行事に参加してこれまでの馴染みの人たちとの関係が途切れないように支援している。友人・知人が訪ねやすいように明るく、開放的なホームの雰囲気作りに配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション等みんなで行える事を行い、コミュニケーションを図っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話等で状況把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のコミュニケーションの中から思いや希望を引き出し、把握できる様に努めている。	日常の会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合はゆっくりと話しかけたり、表情、言動、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討している。入浴時や散歩のときなどの対一の場面にいろいろな話を聞くことができるため、会話の中から思いや希望を引き出すように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の聞き取りや前施設からのサマリ等を職員全員把握できる様個人台帳を作り、閲覧できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェックや日常の様子、心身状態は介護記録に記録し現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	問題が生じたらその都度カンファレンスを開き本人や家族の意向が反映出来るよう意見交換を行い、ニーズに合わせて介護計画を作成している。	本人・家族の意向や暮らし方の希望を聞いて個々に応じた介護計画を作成している。また、毎月、職員間でモニタリングを行って、変化があれば随時見直しを行い、変化がなくても介護計画の期間に応じて定期的に見直しを行って現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を介護日誌に記録している。又共通すべき連絡事項は申し送りノートに記録し情報共有を図っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて検討、対応している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元のスーパーに買い物に出かけている。また、近くの農家から新鮮な野菜を定期的に購入し地元産の食材を活用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望された病院に定期受診、往診をお願いしている。又緊急時に対応していただける様契約している。	利用者及び家族の希望するかかりつけ医となっている。受診は基本は家族にお願いしているが、本人・家族の状況に応じてホームでも柔軟に受診支援を行っている。それぞれの主治医とは24時間連携が図られており、緊急時も適切に対応してもらえる体制が築かれている。また、ホームの看護師による密な健康管理が行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職場の看護師と情報交換し、定期的な受診や往診を受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>定期受診や往診時主治医に状況を報告し、時には電話等で相談をし関係作りに努めている。又入院時はサマリ等で情報提供を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階から急変時の対応や終末期のあり方について、本人・家族・医師・看護師・職員で意思の確認をしている。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの指針を作成している。身体状況の変化に伴って主治医の判断のもと家族と方向性を共有してホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。これまでに本人、家族の希望に沿った看取りの経験もあり、主治医・看護師・職員が一体となって支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急訓練を実施し定期的に勉強会を行っている。又緊急時マニュアルを作成し閲覧できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年1回消防署の指導による防火訓練を実施。又ホーム内で抜き打ち防火訓練も行っている。</p>	<p>年2回消防署立ち会いの防災・防火訓練と自主訓練を行っている。訓練は全て夜間想定で職員一人ひとりが自信を持って避難誘導できるように取り組んでいる。地域へは回覧板で訓練の案内を行い、地域住民の参加も得られている。スプリンクラー及び自動通報装置は設置済みで備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴時やトイレ利用時等一人一人の身体状況に合わせて声掛けし対応している。	利用者個々の生活歴・職歴を把握して個々に応じた声かけやプライドを損なわないような言葉かけに配慮しながら対応している。業務の中でも気づいたら、都度指導するなど職員の資質向上に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	寄り添い傾聴し、思いや希望を支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の生活リズムを崩さない様寄り添い、安心して1日過ごせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その都度好みを伺い、本人の自己決定を大切にしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの把握を行い、喜んでいただける様努めている。又簡単な野菜の下準備や後片付け等も出来る範囲でお手伝いいただいている。	「おいしかった」のことばがもらえるように栄養バランスのいい家庭的な食事を提供している。利用者の趣向を聞いてときには、出前を取ったり、刺身やうなぎ、そめん流しなど「食」が楽しめるように趣向を凝らしている。また、園庭でお茶を飲んだり、お弁当を広げて花見を楽しむこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の水分摂取量のチェックや月1回の体重測定。健康状態の把握や増減の経過は主治医へ報告。又3か月に1回栄養指導を受けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、本人が洗浄後本人了解を頂き、口腔内チェック、義歯の仕上げ行う。また週1回洗浄薬を使用し清潔保持に努める。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりに合わせた排泄介助を行い、夏場は出来るだけ布パンツを使用できる様ケアに努めている。	個々の身体状況を見極めて改善に結びつくように排泄記録やパット等の使用状況を確認して問題がない限り下着で過ごしてもらえるように排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。入居後に改善された利用者が多く、家族の負担軽減にも繋がっている。職員はさりげなく声かけ誘導を行って維持できるように支援している	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を促し排泄できる様努めているが、排便がない時は下剤や座薬等個人に合わせ、排便コントロールに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めてあるが、本人のその日の状態に合わせて入浴を楽しんで頂いている。	基本的には入浴は隔日としているが、個々の身体状況や希望に応じて柔軟に支援している。入浴をためらう利用者には声かけの工夫とタイミングで無理なくスムーズに入浴してもらるように支援している。また、ゆず湯や菖蒲湯などで季節を感じてもらうこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に合わせて休息していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理や服用は職員の責任のもと行い、定期薬の変更等あれば申し送りノートへ記録し、職員間で共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	地域の方々のコーラス訪問や行事参加し楽しんで頂き、又園庭での食事を行い、気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域の敬老会や運動会に参加している。又外出希望があれば家族に伝え、出来るだけ本人の要望がとおる様に支援している。	日常的にはホーム周辺の散歩や敷地内での日光浴・外気浴などで気分転換を図り、気候のいい時期は庭でお茶を楽しむこともある。ときには、地域行事見学や講演会、コーラス鑑賞などに出かけることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金は金庫に一時的に預かっているが、スーパーへ買い物の際は自分で可能な範囲で行ってもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の要望があれば家族へ連絡して本人に取り次ぐ様になっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>四季折々の花を飾り、毎月手作りカレンダーを作成し部屋に飾っている。</p>	<p>明るく家庭的で、生活感や季節感のある空間となっている。掘りごたつのある和室やテレビの前のソファ、ダイニングのテーブルなど思い思いの場所でくつろげるように配慮されている。台所もオープンで利用者が手伝いやすく、食事の準備の光景やにおいなどは生活感に溢れている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル席に職員を一人ずつ配置し、昔話やテレビのニュース等の話題を出し会話のできる雰囲気を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真など飾り楽しんで頂き、又職員手製の誕生日カードを提示している。</p>	<p>ベッドとタンスはホームの備え付けでクローゼットもあるため、居室が整然とされて自立歩行の利用者には歩行の邪魔にならないように配慮されている。家族の写真、ラジオ、お気に入りの飾り物などで居心地良く過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>職員と一緒にできる事だけでなく、一人で出来る、当たり前な生活を送れるよう見守りを徹底し、安心して生活が送れるよう努めている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない